

# 北魚沼あぜ道情報

2011年  
3月号  
JA北魚沼

## 春陽気の魚沼

穏やかな日々が続き、  
豪雪地帯を徐々に  
春に近づいてきています。



ずーと降り続いた雪は、豪雪地帯魚沼の名を全国に広めました。皆さんも一度はお聞きしていると思います。「新潟県魚沼市旧入広瀬地区」・・・。本当に家が埋まるほどの勢いで降り続いた雪。これほどの豪雪地帯に人が住んでいるのはめずらしいそうです。

雪と共存できるのも、この雪がたくさんの恵みを与えてくれるのを知っているから。ミネラル豊富な水があふれんばかりの『水の郷』だからこそ食味の良いコシヒカリが出来るんです。

この頃は春が待ち遠しいと言わんばかりの穏やかな日差しで、積もった雪はどんどん解けていきます。我が家もやっと道路から見えるようになり、朝の出勤も楽になりました。

川を流れる雪解け水はキラキラと輝いて本当に綺麗です。この季節もうひとつのキラキラが！そうです。卒業生です。思い出

を胸に抱き、また一歩未来へ向かって歩き出す。希望に満ちた顔は眩しくて愛しいですね。この子達の未来を守るため、私たちも今年の豊作に向け、また一歩踏み出します。昨年作の出来を振り返り、指導機関とJAでは連日、今年

の稲作対策会議と減反説明会を毎晩各集落の公民館をお借りして開催しています。

その地区ごとに、昨年の生育状況のデータを説明し、土作りから始まるコシヒカリの栽培。毎年違う気候に、水を与える時期や、肥やしを与える時期などの指導に、すぐに対応出来るよう関係機関からのメール配信による情報収集の試みなど、いろいろな策について話し合われます。

減反は、毎年厳しさを増していますし、突如現れたTPP問題など農業を取り巻く環境は相変わらず厳しいですが、農家の皆さんはブランド米魚沼産コシヒカリの名を守るため頑張っています。

今年度は『世界水準の美味しい北魚沼産コシヒカリ』を推進スローガンに掲げ、3月5日集会を行い、常にトップを走る北魚沼産コシヒカリであるため意識統一を行い、一致団結します。

北魚沼産コシヒカリは他の農協にはない取り組みをしています。集荷した全部のお米を食味系で計り、食味のランク付けをし生産者へ評価のフィードバックをしています。結果が良かった人はさらに、悪かった人は今度こそ！と決意し努力します。

生産者の努力が実を結ぶ時は、皆さんから美味しいというお便りをいただく時です。皆さんの笑顔を想像しながら田んぼが顔を覗かせるのを今か今かと待っています。今、田んぼの土は雪に守られ熟成し、雪解け水でミネラルたっぷりの水を含んだ新しい土に生まれ変わり春に備えています。

うちの父ちゃんも雪片づけで鍛えられ、魔法の水で熟成し、春作業に備えます…。

(JA北魚沼 佐藤)

## 春が待てない！雪割草

北魚沼農協管内の生産者の皆さんは、降り積もる雪に埋もれて嘆いてなんていません。皆さん、本当によく稼ぐんです。

稼ぎ手の一人「雪割草」に魅せられた父ちゃんのハウスにお邪魔してきました。まあハウス一面雪割草。自分で株を寄せて新しい品種を作り出していて、まだ名前もついていない品種もあります。かわいいお花達をご紹介します。



どの雪割草もとってもきれい！

